

## 2009年10月

日本はすっかり秋らしい気候になったようですが、ここ香港ではまだ日中は夏とかわらない気温です。とは言え朝夕はかなり涼しい日もあり、季節の変わり目ということもあり私の周りでも風邪を引く人が多いようです。みなさまはいかがお過ごしでしょうか？

先日また日本に行く機会があり、その過ごしやすい爽やかな気候と美味しい日本食に、やっぱり日本はいいなあとしみじみ思ったのですがひとつだけ香港の方がいいなあと思ったことがありました。

それは交通機関の便利さと運賃の安さです。

香港の交通機関には大きくわけて、MTRと呼ばれる地下鉄、二階建てバス、ミニバスと呼ばれる16人もしくは17人乗りのバス、タクシー、道路を走るトラム、フェリーなどがあります。

まずMTR、これは初乗りが4ドル（日本円約50円）からで香港と九龍側の主要な場所はほとんど網羅されており路線も複雑ではないので、観光にも大変便利です。

ただ、観光客に人気のある香港島南側のリパルスベイや、スタンレーマーケットへはMTRが通ってませんので、こちらは二階建てバスやミニバスを利用することになります。

イギリス領であった名残の二階建てバスは、やはり一度は二階に乗ることをお勧めします。思った以上に高いところに座っている感じが中々、スリルがあって楽しいですよ。

もう一つの移動手段のミニバスは、慣れないとかなり乗りこなすのがむずかしいのですが、道路交通法で問題ないところであれば「ここで降りたい！」と叫べば、その場所でおろしてもらえるととても便利な点があります。その「ここで降りたい」は広東語で

「有落（ヤオロツ）」と言います。

私も香港に来てすぐのころ、会社からミニバスで家に帰るのが一番便利だと会社の人に教えていただき、でも、この『有落』がはっきりと大声で叫ばないと止まってくれないということで会社の人事の方から『有落』の発生の大特訓を受けました。今思うと笑い話ですが、当初は広東語も全くわからず、初めてひとりでミニバスにのり『有落』の掛け声で無事に思ったところにおろしてもらえた時には心の中でちいさく拍手でした。

どの交通機関も庶民の足としてたいへん活躍している香港ですが日本では高いイメージのタクシーも、香港では初乗り16ドル（日本円で約300円弱）で乗ることができ気軽に利用できる交通機関だと思います。ただ日本のタクシーのように素晴らしく真っ白で美しいシートカバーや丁寧な運転手さんを想像していると、古びた車内やカジュアルウェアの運転手さんにびっくりされるかもしれませんが。

あとは香港らしさを満喫するというなら、やはり道路を走っている路面電車のトラムでしょうか。年季の入ったセピアがかかったように見える車内からごんごんと揺られながら眺めていると、香港の町並みもゆったりと懐かしいもののように見えるのが不思議です。

そして、もうひとつ、ゆったりと旅情たっぷり私の大好きな乗り物は、九龍と香港の間を渡るスターフェリーと呼ばれるフェリーです。こちらやはりノスタルジック感あふれる木造の船内で、そこから香港の摩天楼を眺めていると、もう住み始めて16年たった今でさえ、ふと旅に出ているようなそんな気分になります。また、夜のスターフェリーから眺める夜景はたとえようもなく美しく、もやが出やすく綺麗に見られることの少ないヴィクトリアピークから眺める夜景よりも、こちらの方が私的には夜景のベストスポットです。

観光バスで効率よくという旅もよいのかもしれませんが  
もしお時間にちょっとゆとりがあるのなら、  
こういう香港ならではの交通機関を利用してみると  
また違った香港の思い出ができるのではないのでしょうか。

それでは、また。

咲乃月音